



「予備自衛官中央訓練に参加して」

堤 悌二 予備2等陸佐

私は、平成22年に自衛官を定年退官する際に、我が国を守ることに少しでも長く関わりを持ちたいとの気持ちから予備自衛官を志願し、毎年招集訓練に参加しています。そんな中、札幌地本から「中央訓練に参加してみませんか？」との連絡があり、即座にOKの返事をしました。

中央訓練は、全国の予備自衛官から60名が選抜され、8月26日（金）～30日（火）の間に実施されました。

まず、朝霞駐屯地にて着隊式から始まり、その代表として指揮を執る事を任せられ、身が引き締まる思いのなか、訓練が始まりました。

翌日は、東富士演習場にて富士総合火力演習の研修でした。富士総合火力演習研修は、自衛官時代からの夢であり、空地からの機動と火力連携は組織的に、迅速かつ正確に集中発揮され、本当に素晴らしく感動しました。

その日の午後からは、市街地戦闘訓練として、第1普通科連隊のご指導のもと、基本動作の反復訓練を通じ総合訓練を行い、市街地戦闘訓練の難しさを痛感しました。また組織的かつ有機的に機動と火力を連携・発揮し、敵を掃討撃滅するために、「小隊全員の認識統一」は緊要不可欠であり、この一連の流れは、仕事面でも十分に役立ち、活用できることを身に染みて感じる事ができました。

訓練の終盤には、陸上幕僚長からの訓示や市ヶ谷研修、意見交換会がありました。特に、陸上幕僚長自ら「予備自衛官に対する思い」を直接拝聴する事ができ、胸に熱いものが込み上げてきました。また、我々予備自衛官も会社や町内会等において「自衛隊の広報・募集要員」として意識を持ち、幅広くその活動の重要性を認識し、今後一名でも多く後輩自衛官の輩出に貢献していきたいと思いました。

最後にこの中央訓練では、予備自衛官隊長として特に認識統一の重要性を再認識した事と、普段とは異なる招集訓練で戸惑いながらも全員で乗り越えてきた予備自衛官との絆と交流は強く、全国にたくさんの仲間ができた事が良い経験となり印象に残りました。中央訓練では、得ることがたくさんあり、自己成長にも繋がりますので、皆様も機会があればぜひ参加して下さい。



指揮を執る堤2佐